

京都市方言のアスペクト

井上博文

I. はじめに

- (1) 調査対象地；いま、京都市は平安建都1200年の諸々の行事に賑わっている。周知のように京都の言葉は、日本語の歴史のうえで中央語としての地位を担ってきた。
 - (2) 調査年月日時；平成5年(1994)12月20日～平成6年(1995)1月30日
 - (3) 話者 (a)山岡譲氏 (m. S. 11) 会社員(元警察官) 東山区
(b)松村康夫氏 (m. S. 23) 商店経営 左京区
(c)松村吉裕氏 (m. S. 46) 大学院生(大阪教育大) 右京区
- 他に、京都市在住の、(d)今井昌子氏(大阪成蹊女子短期大学非常勤講師)と(e)田中貴子氏(梅花女子大学)にそれぞれお話をうかがった。
- (4) 調査者・調査場所；井上博文・(a)(b)は話者宅、(c)は大阪教育大学の井上研究室。
 - (5) 調査方法；配布の調査票に基づいた面接調査。なお項目の順序を変更した場合もあった。(d)(e)については項目を限った。
 - (6) 表記方法；文アクセント(文抑揚)は上昇を「↑」、下降を「↓」で示した。(一部の語アクセント・(文節アクセント)は、高低の高の部分に傍線を付した。ただし、これらは文中に実現されたものである。話者の間でアクセントのずれが存する場合には、(a)(b)(c)の順に採用した。事象や内省・説明の回答のあった話者を右上に記号で示した。ただし、共通して得られた内省・説明には付さなかった。

II. 調査結果

1. (昔は)よく行ったものだね ①ヨ'ー 'イッ'タ^{(a)(c)}/②ヨ'ー イッ'テ'タ^{(a)(c)}
/③イ'トッ'タ^(c) ③は感情がこもる^(c)
2. (あのころは)おもしろかったなあ ①オモシロカッ'タ^(a)/②オモロカッ'タ^{(a)(c)}
3. (もうちょっとで)落ちるところだった ①オチル'ト'コ(口)ヤッ'タ^{(a)(c)}
4. (今にも)落ちそうだよ ①オチカカッ'テル^(a)/②オチソ'ーニ ナッ'テル^(a)
/③オ'チ'ル^{(a)(c)}/④オ'チソ'ー'ヤ^{(a)(c)}/⑤'オチル オチル^(c)
5. (財布を)落として ①オ'トシテ^(a)/②オ'トシテシ'マッ'テ^(a)/③オ'トシテシ'モー'テ^{(a)(c)}/④オ'ト'シテ'モー'テ^(c) ④は感情がこもる^(c)。
6. 困っている ①コ'マッ'テルンダ^(a)/②コ'マッ'テ'ン'ニヤ^(a)/③コ'マッ'テ'ン'ネ'ン^(c)
7. (一本の蠟燭が今にも)消えそうだよ ①モー キ'エ'ル^{(a)(c)}/②キエ'ル 'キエ'ル^(a)
/③'キエ'カ'カッ'テ'ル^(a)/④キエ'ソ'ー'ヤ^{(a)(c)} ③より④がやわらかい言い方^(a)。
8. (今)消えようとする ①モー キ'エ'ル^{(a)(c)}/②イ'ヨ'イ'ヨ キエ'ル^(a)/③'キエ'テ
'シマウ^(a)
○モー 'アカン。'モ 'キエ'テ'シマウ' ワ'ー。(m. S. 23) もう駄目だ、消えてしまふよ。

9. (完全に) 消えた ①キエ'テシマツタ'ー^(b) / ②「キエ'テ'シモー'タ^(b) / ③キエ'タ^(c) / ④キ'エテモー'ター^(c)
10. (すでに) 消えていたよ ①キエテ'タ^(b) / ②キエテ'ル^{(b)(c)} / ③「キエ'テ'シモテ'タ^(b) / ④キ'エトツタ^(c)
11. (何本もの蠟燭が順に) 消えはじめた ①イッポン'ズ'ツ キエハ'ジメル^{(b)(c)} / ②イッポン'ズ'ツ キエテイ'ク^(b) / ③キ'エハジ'メテキタ^(b) / ④キ'エカケテル^(c)
12. (何本もの蠟燭が次々) 消えていくなあ ①イッ'ボンイッポ'ン キエダシタ^(b) / ②イッ'ボンイッ'ボン キエテイク^{(b)(c)} / ③キ'エテク^(c) ③の場合に後に「ナー・ワー」などが来ないと落ち着きが悪い^(c)。
○ア'ー'ア' ローソクワ イッボンイッ'ボン 'キエテイ'ツ'タ 'ナー。
(m. S. 11) ああ、蠟燭は一本一本消えていったなあ。
13. (何本もの蠟燭が順に) 消えているよ ①ジュ'ンバン'ニ 'キエテイク^{(b)(c)} / ②キ'エテ'ク^(c)
○ホラ'ー ロー'ソ'クガ ダン'ダン 'キエテイ'クヤロ'ー。(m. S. 23) はら、蠟燭がだんだん消えていくだろう。
14. (何本もの蠟燭が全部) 消えているよ ①ゼン'ブ キエテル^(b) / ②ミ'ンナ 'キエテシ'モー'テ'タ^(b) / ③キ'エテシ'モタ^(c)
15. (何本もの蠟燭の火を次々) 消しているよ ①ケ'シテク^(b) / ②ケシテイ'ク^(b) / ③'ケシテハ'ル^(b) / ④ケシテ'ル^(c)
○アノ'ー 'オッチャン'ガ'ー ローソク'オ'ー イッ'ポ'ンイッ'ポ'ン ケイシテイ'キマス ヨー。(m. S. 11) あのおじさんが蠟燭を一本一本消していきますよ。
他動詞を用いた表現よりも、「キエテル」のように自動詞を用いた蠟燭に即した言い方が自然に感じる^{(b)(c)}。
16. (もう全部) 消しているか ①ゼン'ブ キエテイル^(b) / ②ケシテハ'ル^(b) / ③ケシタ'カ^(c)
○ケシテハ'ルカ 'ド'ー'カ ミ'テキ'テ 'ヤ。(m. S. 23) 消しているかどうか見てくれ。
17. (今にも桜が) 散りそうだ ①イマ'ニ'モ チリソーダ^{(b)(c)} / ②チリカカッテ'ル^(b) / ③チリカケテ'ル^(b) / ④チ'リソ'ーヤ^(c) / ⑤チ'ル^(c) ①は標準語的^(c)。
○ア'ー 'コラー' モ コ'ンバン'ジュ'ーニ 'チ'ル 'ナ'ー。(m. S. 46)
ああ、これはもう散るなあ。
18. (ちらほらと) 散り始めた ①チリハ'ジメタ^{(b)(c)} / ②チリダ'シタ^(b) / ③チョ'ット'ズ'ツ 'チリカケ'テ'キ'タ^(b) / ④チッ'テ'ル^(c)
19. (今現に) 散っている ①チッ'テ'ル^{(b)(c)} / ②チッ'テキ'タ^(b)
20. (桜の木がすっかり) 散っている ①チッ'テシ'マツ'タ^(b) / ②チリ'ソ'メタ^(b) / ③チッ'テシ'モー'テ'ル^(b) / ④チッ'テシ'モタ^(c)

- サクラノ 'ハ'ナガ チリ'ソ'メタ。モー エダ'ニ'ワ サクラノ 'ハ'ナガ
ナ'イ。(m. S. 11) 桜の花が散ってしまった。もう枝には桜の花が無い。
- サクラノ ハ'ナワ ミン'ナ チッ'テシ'モテル デ'ー。(m. S. 23) 桜の花はみんな散
ってしまってるよ。
21. (地面一面に) 散っている ①オチ'テル^(a)／②オ'チテシ'マッテル^(a)／③チット'ル^(a)
／④チッテル^(a)／⑤チ'ラバッテル^(a)／⑥チッ'テシ'モ'タ^(c)
③は汚い状態を想起する^(a)。意味を区別するために項目21と異なる動詞を用いる。
22. 今にも降りそうだ ①イマ'ニ'モ フリダ'シ'ソー'ヤ^(a)／②フッ'テキ'ソー'ヤ^(a)
／③フ'リカ'ケ'テル^(a)／④モー 'フッ'テク'ル^(a)／⑥フ'リソー'ヤ^(c)／⑦フ'ル^(c)
雨の降る緊迫感は①・②<③<④の順である^(a)。
- モー 'アカ'ン 'アカ'ン。モー 'フッ'テク'ル' ワー。(m. S. 23) もう驟目だ、驟目
だ。もう降ってくるよ。
23. (あの時は今にも雨が) 降りそうだったなあ ①フリダ'シ'ソー'ヤッタ^(a)／②フリダ'
ス'ト'コヤッタ^(a)／③フ'リソー'ヤッ'タ^{(a)(c)}
24. (あの時はもう実際に雨が) 降っていたよ ①フッ'テ'イ'タ^(a)／②フッ'テ'タ^{(a)(c)}
25. (あの時はやがて夜が) 明けようとしていたよ ①アケ'ヨー'トシ'テ'タ^(a)／②ア'カル
クナッテ'キ'タ^(a)／③'アケ'カケ'テ'タ^(a)／④アケ'ソー'ニ'ナッテ'イ'タ^(a)／⑤アケ'ソー'ヤッ
タ^(a)／⑥アサ'ニ ナリ'カ'ケ'ヤッ'タ^(c)
- モー 'ジキ'ー 'ヨ'ガ アケ'ソー'ヤッ'ター。(m. S. 23) もうすぐ夜が明けそうだった。
26. (来年の今ごろは家を) 建てている ①タテ'テ'イル^(a)／②タテ'テル^{(a)(c)}
27. (来年の今ごろは家をすでに) 建てている ①タチ'アガッ'テル^(a)／②デ'キ'テル^{(a)(c)}
／③タッ'テル^(a)／④タッ'テシ'モ'テル^(a)
- モ ライ'ネ'ン'ノ 'イマ'ゴロ'ワ イ'エ'モ タチ'アガッ'テル'カラ'ー ミナ'サン
'ゴカ'ゾク'ー オ'ソロ'イ'デ' ドー'ゾ ユック'リ オ'ア'ソ'ビ'ニ キ'テ'ク'ダ'サ'
イ'ヨ。(m. S. 11) もう来年の今頃は家も出来ているから、皆さん、ご家族お揃いで、どうぞゆっくりお遊びに来てくださいよ。
- ラ'イ'ネ'ン'ノ 'イマ'ゴロ'ヤッタ'ラ モー イ'エ' タッ'テシ'モ'テル'シ'ー 'ア
ソ'ビ'ニ キ'テ'モ'ー ゴ'チ'ソー' デ'キ'ル' デ'ー。(m. S. 23) 来年の今頃だったらもう家建ててい
りから、遊びにきてもご馳走できるよ。
28. (あの家はよく) 磨いてある ①ミ'ガイ'テ'アル^{(a)(c)}／②ミ'ガイ'テ'ル^(c)
29. (隣の犬が) 鳴いている ①ナ'イ'テ'ル^{(a)(c)}／②ナ'イト'ン^(a)
- ト'ナ'リ'ノ イ'ヌ'ガ ナ'イ'タ'ハ'ル。(c) 隣の犬が鳴いている。
「ナイ'タ'ハ'ル」に比べると「ナイ'テ'ハ'ル」は大阪的に聞こえる^{(a)(c)}。
30. (隣の子が) 鳴いている ①ナイ'テ'ル^{(a)(c)}／②ナ'イト'ン^(a)
- ウル'サ'イ ナ'ー。'オ'ン'オ'ン ナ'イト'ン 'ナー。(m. S. 23) うるさいなあ、わんわん
ないやがるなあ。

31. (子どもたちが) 喧嘩している ①「ケンカシテマス」^{(b)(k)(c)}
32. (家に) いるかなあ ①「イル」^(b) / ②「オル」^{(k)(c)}
33. (〇〇さん) いるか ①「オル」^(b) / ②「イル」^{(b)(k)(c)}
 ②が①より少しいい言葉になる。①はごく親しい者に対して用いる。
34. (ああ) いるよ ①「オル」^{(b)(k)(c)}
35. (そういう人も) いるよ ①「オル」^{(b)(k)(c)} / ②「イル」^(b)
36. (あなたは今何を) していたか ①シ「テル」^(b) / ②シ「テ」^{(k)(c)} / ③シ「テ」^{(k)(c)}
37. (私は今金魚を) 見ていたよ ①ミ「テ」^{(k)(c)}
38. (金魚が今にも) 死にそうだ ①モー シニ「ソー」ニナッテル^(b) / ②シ「ニカケテル」^{(k)(c)}
 / ③シ「ニソー」ヤ^(b)
 ○イ「ママデ」ゲ「ンキヤッタ」ノニ「コ」ノ「キン」ギヨ シ「ニカケテル」ワ。
 (m. S. 11) 今まで元気だったのに、この金魚にそうだよ。
39. (やっぱり金魚は) 死んでいたよ ①シン「デ」^{(k)(c)} / ②「シンドッタ」^(b)
40. 読み始めていた ①ヨ「ミカケテ」^{(k)(c)}「ト」コヤ^(b) / ②ヨ「ミハジメテ」^{(k)(c)}「テ」^(b) / ③ヨ「ミカケ
 テ」^{(k)(c)} / ④ヨム「ト」コダッ「タ」^(b)
41. 読み始めたところへ(～た) ①ヨ「ミカケ」^{(k)(c)}「タ」トコ「ロ」エ^(b) / ②ヨ「ミハジメテ」^{(k)(c)}「ラ」^(b)
 / ③ヨミ「ハジメテ」^{(k)(c)}「ト」コエ^(b)
 ○ホン「オ」ヨ「ミハジメテ」^{(k)(c)}「ラ」ー「デン」ワ「カカッテ」キタ「ン」ヤー。
 (m. S. 23) 本を読みはじめたら、電話が掛かってきたんだよ。
42. 着くと同時に～した ①ツイ「タ」^(b)「ラ」(「スグ」ー)カ「カッテ」キ「タ」^{(k)(c)} / ②ツク「ナ」
 リカカッタ^(b) / ③ツイ「タ」^(b)「タン」ニ^(b)
43. 着くと同時に～してくれ ①ツ「カハッタ」^(b)「ラ」(「スグ」ーシテ「クダサ」イ^(b)) / ②ツイ「
 タ」^(b)「ラ」(「スグ」ーオ「リカエ」シ「デン」ワ「クダ」サ「イ」^(b)) / ③ツイ「タ」^(b)「ラ」ー「ス」グ
 ニ「デン」ワ「シ」テ「ヤ」^(b) / ④ツイ「タ」^(b)「ラ」(「ス」グ)「デン」ワ「クレ」^(b)
44. 鳴りつづけている ①ナ「リッパナシ」^{(k)(c)} / ②ツギ「カラ」ツギ「ト」ナ「リッパナシ」^(b)
 / ③ズー「ット」ナッ「テル」^{(k)(c)} ①は、うるさいといった嫌悪感を感じる時^(c)。
45. (先生は今何を) しているか ①シ「テル」^{(k)(c)}「デ」ス「カ」^(b) / ②シテオ「ラレ」マス「カ」^(b)
 / ③シ「テハリ」マン「ノ」^(b) / ④シ「テハリ」マス「カ」^(b) / ⑤ナ「サッテ」マス「カ」^(b)
46. 好きだ ①スキ「ダ」^(b) / ②スッ「キヤ」^(b) / ③ス「キ」ヤ^(b)
47. 見られているのも ①ミラレ「テ」イ「ル」ノ「モ」^{(b)(k)} / ②ミラレ「テ」^{(k)(c)}「ン」ノ「モ」^(b)
 ○アー「ア」ノ「セ」ンセ「ミン」ナ「ガ」ミ「テイル」ノ「ニ」ーミラレ「テ」イ「ル」ノ「モ」
 シ「ラン」ト「イネム」ッテハ「ル」ワ。(m. S. 11) ああ、あの先生みんなが見ているのに、見られているのも知ら
 ないで居眠りしていらっしやるわ。
48. (今、運動会が) ある ①ヤッ「テマ」^{(k)(c)}「ス」 / ②マッ「サイチュ」ーヤ^{(b)(k)}
 ○イマー「ガッ」コーデ「ウン」ド「ー」カイ「ヤッテ」マス「ー」。(m. S. 23) 今年で運動会を

やっています。

○イマー 'ネ。'チョード' ネ。ウン'ドーカ'イガ マツ'サイ'チューヤ'シ。

(m. S. 23) 今ね、ちょうどね、運動会が真っ最中だから。

49. (降らなくて) よかったよ ①ヨ'カッ'タ^(M,K)

50. (先生がこっちへ) 来つつある ①ヤッ'テク'ル^(M)/②'キハッ'タ^(M)/③キ'ハル^(C)

51. (犬がこっちへ) 来つつある ①ク'ル^(M,K)/②ヤッ'テク'ル^(M)/③キ'タ 'キ'タ^(M,K)
/④キ'タ^(M) ③は目の前に近付いた場合^(M)。

52. 似ている ①ニ'テイ'ル^(M)/②ニ'テル^(M,K)

○ワタ'シ'ノ イヌ'ズ'キワ 'ヨ'ク 'イ'トコニ ニ'テル'ンデ'ス 'ヨ。

(m. S. 11) 私の犬好きは、よく従兄に似ているですよ。

53. (一週間も前から遊びに) 来ている ①キ'ト'ンヤ^(M)/②キ'ト'ル^(M)/③キ'テル^(M,K)

○イ'トコワ イッ'シュー'カン'マ'エカラ'ー ワタシ'ノイ'エ'ニ'ー アソビ'ニ
キ'ト'ン'ヤ。 (m. S. 11) 従兄は一週間前から私の家に遊びに来ているだよ。

54. (昔から) 苦勞していない ①クロー'シ'ラズ^(M)/②ク'ロー'シ'トラン'ノヤ^(M)/③ク'ロ
ー'シ'テナ'イ'ンヤ^(M,K)/④ク'ロー'シ'トラ'ヘン^(M)/⑤ク'ロー'シ'テ'ヘン^(C)

55. (今はあまり) 苦勞しないでいる ①ラク'ナ 'ク'ラシオ シ'テ'ハリ'マス(熱帯を
おれませ)^(M)/②ク'ロー'シ'テナ'イ'ンヤ^(M,K)/③シ'トラ'ヘン^(M)/④シ'テ'ヘン^(M,K)

○ムカシ'ワ 'ク'ロー'シ'テ'タケ'ド イ'マ'ワ シ'ト'ラ'ヘン 'ナー。

(m. S. 23) 昔は苦勞していたけれど、今はしていないなあ。

56. ~は売っているが、~は売っていない ①ウッ'テル'ケド~ウッ'テナ'イ^(M,K)/②ウッ'
テル'ケド~ウッ'テ'ヘン^(M)

57. (昔からタバコを) 売っている ①ムカシ'カ'ラ((フル'カ'ラ) ウッ'テル^(M,K)

58. (今、大売出しで衣料品を) 売っている ①ウッ'テル^(M,K)

59. (もう三回) 来ている ①ア'シ'ー ハコン'デル^(M)/②キ'テル^(M,K)/③キ'テン^(M)
/④キ'テイ'ル^(M) ④は丁寧な言い方。

60. (いつも) 来ている ①(ショッ'チュー) キ'テル^(M,K)

61. (昔はいつも) 来ていた ①キ'テ'タン'デス^(M)/②ヨ'ー キ'テ'タ^(M,K)

62. (前に一度) 行っている ①イッ'テル^(M,K)/②イッ'タ'コト ア'ル^(M,K)

63. 先に行っておいてほしい ①イッ'テ'ク'ダ'サ'イ^(M)/②イ'キ'カ'ケ'ト'イ'テ^(M)/③イッ'テ'ク'
ク'レ'ヤ'ー^(M)/④イッ'ト'イ'テ'ー^(M)/⑤イッ'テ'テ'ー^(C) ⑤より④が丁寧^(C)。

○ア'ー オ'タ'エ'サン 'ナー。スン'マ'ヘン'ケ'ド ナ'ー。オ'フ'タ'リ 'サ'
キー イ'キ'カ'ケ'ト'イ'テ。'ヤ'ガ'テ ワ'タ'シ'モ オ'イ'ツ'ク'カ'ラ。 (m. S. 11)

ああ、おたえさんねえ、すみませんけどねえ、お二人で先に行っておいて、やがて私も追いつくから。

64. 待っていないさ ①マッ'テ'ナ'サ'イ^(M,K)/②マッ'テ'テ'ヤ^(M)/③マッ'ト'キ^(C)

65. (外に) 待たせてあるよ ①マ'タ'シ'テ'マス^(M,K)

66. 食べておいておくれ ①タ'ベトイテ^{(NM)(C)}／②'スマシトイテ^(M)／③タバカケ'テ^(M)
 ／④タ'ベテテヤ^(M) ①は命令的で、それに比べて④は願望的でやわらかい物言いになる^(M)。
 ○アノ'ー オ'ト'サン 'チョット オ'シ'ゴトデ 'オ'ソナルカラ'ー 'ゴ'ハン
 ンオ 'サキ'ニ タバカケ'テ。(m. S. 11) あの、お父さんちよとお仕事で遅くなるから、ご飯を先に食べて、
67. (昔と) 違っている ①チガ'ッテル^(M)／②チ'ゴテン^(M)／③チャ'ウ^(C)
 ○コラー 'マ'エト 'チャ'ウ 'ナー。(m. S. 46) これは前と違うなあ。
68. (昔は今のと) 違っていた ①チ'ガッ'タ^(M)／②チ'ガッテ'タ^(M)／③チ'ゴー'タ^(MC)
 ／④チ'ゴテタン'ヤ^(M)
69. (毎日梅干しを) 食べている ①タ'ベテル^(MC)／②タベテマ'ス^(M)
70. (毎朝) している ①シ'テイル^(M)／②シテマ'ス^(M)／③シ'テル^(C)
71. 気をつけていて (～した) ①キオツケテナ'ガラ^(M)／②キーツケテンノニ^(M)／③キー'
 ツ'ケ'テ'タノ'ニ^(C)
 ○アノ シトワ シ'ジュ'ー ケンコーニ キオツケテナ'ガラー ビョー'キバツ'カ
 リ シテハ'ル。(m. S. 11) あの人はいつも健康に気をつけながら、病気がかりしておられる。
72. 行ったまま～ ①イッ'タママ^{(NM)(C)}／②イッ'タ'ナ'リ^(M)／③イッ'タ'キ'リ^(M)／④イッ'タ
 マン'マ^(M)
 ○イッ'タママ' カ'エッ'テ 'コー'ヘン。(m. S. 46) 行ったまま、帰って来ない。
73. ～しながら ①シ (-)'ナガラ^{(NM)(C)}／②シ (-)'モッ'テ^(M)
 ②は小さい子どもを叱るときに用い、後件は禁止・制止の言辞になりやすい^(M)。
 ○テ'レビ 'ミーモッ'テ 'ゴ'ハン タ'ベタ'ラ 'アカン。(m. S. 23)
 テレビ見ながら、ご飯食べたら暴言だよ。
74. ～の途中で～する ①イキシナ'ニ^(NM)／②イ'クツ'イデニ^(MC)／③イ'クチュ'ート'デ^(M) (中途で)／④イク'ト'キ^(C)／⑤イクトチュ'ー'デ^(C)
 ○デ'シナニ 'デン'ワ カ'カッ'タサカイ オ'ソーナツタ 'ワ。(e) (家を) 出掛ける
 時に電話がかかったから、遅くなったよ。
 ①の「シナニ」はまだ家にいる時でも、「○イキシナ'ニ 'キャ'クガ 'キ'タ。(d) 家を出る時に客が来た。」のように使うことができる。
75. ～の途中で～した ①イク'トチュ'ーデ'アッ'タ^(M)／②イ'ク'ミチデ'アッ'タ^(M)
 ／③イ'キシナニ'オータン'ヤ^(M)／④イクチュ'ート'デ'オータン'ヤ^(M)／⑤イク'
 ト'キ^(C)
76. ～の途中で止めて～した ①ヨン'デ'タ'ケ'ド 'ヤメ'テ デ'カケタ^(M)／②ヨ'ミサシ
 デ デ'カケタ^(M)／③ヨ'ムノチュ'ート'デ 'ヤメ'テ デ'カケタ^(M)／④ヨン'デン'ノオ
 'ヤメ'テ^(C)／⑤ヨミ'カケ'ノマンマ^(C)
77. ～したばかりだ ①ヨン'ダ'ト'コヤ^(MC)／②ヨン'ダバツ'カ'シヤ^(M)／③ヨン'ダバツ'カ

「リ」^(c)

78. 無くなっている ①ナ「クナット」ル^(b)／②ナ「クナッテ」ル^{(b)(c)}
②の方が新しい言い方の感じがする^(b)。
○ナ「クナッテ」ルー。ア「ラヘン」ワ。(m. S. 23) なくなっている。無いよ。
79. 無くなるぞ ①ナ「クナル」ル^{(b)(c)}／②ナ「イヨ」ー(ニ)ナ「ル」^(b)／③ナ「クナッ」テ「シマウ」^(c)
80. 掛けておいた帽子 ①カケト「イタ」^{(b)(c)}／②カ「ケテタ」^(b) ①はわざわざ掛けておいたという語感がする^{(b)(c)}。
○ア「コノ」ハシラノト「コニ」カケト「イタ」ポー「シワ」ー「ド」コ「イッ」タ「ン」
「ヤー」。(m. S. 11) あそこの柱の所に掛けておいた帽子はどこにいったんだ。
81. 並んだ本 ①ナ「ランデル」ル^{(b)(c)}／②ナ「ランド」ル^(b)
②は低俗な価値の低い本に対して用いる^(b)。
82. 並べた本 ①ナラベ「テアル」ル^{(b)(c)}／②ナ「ラベター」ル^(c)
83. ～しておこうか ①ヨ「ンドコ」(ー)^{(b)(c)}
84. やってあるか ①ヤッ「タン」ノカ^(b)／②モー「ンデルケー」^(b)／③ヤッ「テアルカー」^(c)
／④ヤッ「タルカ」^(c)
85. 壊している ①コ「ワシテル」ル^{(b)(c)}／②コ「ワシト」ル^{(b)(c)}
①は事態を客観的に叙述するのに対して、②は叱責する語感がある。
○アー「マ」タ「オモチャ」オ「コ」ワシト「ル」ワー。(m. S. 11) ああ、また玩具を壊しているよ。
86. 壊れている ①コ「ワレテ」ル^{(b)(c)}
87. 壊されている ①コ「ワサレテ」ル^{(b)(c)}
88. のけてある ①カ「タズケテアル」^(b)／②ノ「ケテ」ハ「ンニヤ」^(b)／③ノ「ケ」テアル^(c)
○アブナ「イ」サカ「イ」ニ「コ」ノ「オモ」チャ「ヘヤ」ノ「ス」ミニ「ヤッテ」ハ「
ンニヤ」ナー。(m. S. 23) 危ないからこの玩具、部屋の隅にやっつけられるのだなあ。
89. 書き終わった ①カキオワッ「タ」^{(b)(c)}／②カキア「ゲタ」^(b)／③カ「イテシモ」タ^(b)
②になると、苦勞して書いたことへの感慨がこもる^(b)。
90. 書いてしまいなさい ①カ「キナサ」イ^(b)／②カイテシ「マイナサ」イ^(b)／③カイ「テシ」マ
イヤー^(b)／④カイ「テ」マ「エ」^(c)
○タッ「タ」サン「マイ」グ「ライ」ノ「アンナイジョ」ー「ハ」ヨ「カイテシ」マイナ
サ「イ」ヨ。「ナニ」シトン「ヤ」。(m. S. 11) たった三枚ぐらいの案内状、早く書いてしまいなさいよ、何をしている
のだ。
91. 書いてしまう ①カ「イテシ」マ「ウ」^{(b)(c)}
○イッ「ツ」モ「キオ」ツケ「テル」ノニ「マチガ」イ「ジ」オ「カイテシ」マ「ウ」
ナー。(m. S. 11) いつも気をつけているのに間違いの字を書いてしまうなあ。
92. 書いてみた ①カイテ「ミ」タ^{(b)(c)}／②カイ「テミ」テ「ン」^(c)
93. (孫は今)入院している ①シ「テ」マン「ネ」ヤ^(b)／②シテマス「ネン」^(b)／③シテ「マ」ス^(c)

ンヤ⁹⁴／④シ'テルンデ'ス^(c)

○イヤー'ン 'マ'ゴガ ビョーキ'デ 'ネー、ソコノ 'ラク'トービ'ョーイ'ンニ
ニュ'ーインシテマス 'ネ'ン。(m. S. 11) いや、孫が病気でね、その洛東病院に入院しているのですよ。

94. (弟も今) 入院しているそうだ ①シテイル'ラ'シーデス^(b)／②シ'テルンデ'ス^(b)
／③シ'テル'ラ'シー'ン'デ'ス^(c)

95. (きっと) よくなるよ ①ヨ'クナル^(b)／②ヨ'ク'ナツテク'ル^(b)／③ヨ'ー ナ'ル^{(b)(c)}
○キツト ア'ンジョ'ー ナ'ル'シ。(m. S. 23) まつとよくなるから。

96. (だんだん) よくなるよ ①ダン'ダ'ン ヨ'ク'ナツテク'ル^(b)／②ダン'ダ'ン ヨ'ク
ナツテイク^(b)／ダン'ダ'ン 'ヨ'ー ナ'ル^{(b)(c)}

97. 歳とるとね、 ①トツテク'ルト^{(b)(c)}／②トツ'テキタ'ラ^(b)

98. なおらなくなるよ ①ナ'オラナクナツテ'イク^(b)／②ナ'オラヘ'ンヨ'ー'ニ ナツ'テ
'クン'ニヤ デー^(b)／③ナ'オランヨ'ー'ニ ナツ'テク'ル^(c)

○ダン'ダ'ン ナ'ー。ナ'オラヘ'ンヨ'ー'ニ ナツ'テ'クン'ニヤ デー。

(m. S. 23) だんだんえ、おらないうようになってくるんだよ。

99. (1) (犬が) 怪我したので ①×^{(b)(c)}／②○^(b) ②他の犬には使うこともある。

(2) (子どもが) 怪我したので ①×^{(b)(c)}

○アノー 'コドモガ'ー 'ケ'ガ 'シタ'シ コレカ'ラ 'ビョーイ'ンニ 'ツレ
テイキマス ワ。(m. S. 23) あ、子どもが怪我したから、これから病院に連れていきますよ。

(3) (お父さんが) 怪我したので ①×^{(b)(c)}

○オ'トーサンガ 'ケ'ガシ'ハッタ'ン'デー コレカラ 'ビョーイ'ン'エ イッ'シ
ョ'ニ ツレテイ'ク。(m. S. 11) お父さんが怪我をなされたので、これから病院へ一緒に連れていく。

(4) (雨が) 降ってきたので ①×^{(b)(c)}／②○^(c) ②は降られて困っている時に^(c)。

○ユー'ダチガ フツテキ'タノ'デ アー 'センダ'クモノ イ'レ'ニヤ イ'カン
ワー。(m. S. 11) 夕立が降ってきたので、ああ、洗濯物をいれないといけないなあ。

○アメ 'フツ'テキ'ヨッタ ワ。(m. S. 46) 雨が降ってきやがったよ。

100. つつある

(1) 降りつつある ①C^{(b)(c)}／②B^{(b)(c)}

(2) 増えつつある ①A^(b)／②B^{(b)(c)}

(3) 増やしつつある ①B^{(b)(c)}／②A^(c)

III. 総括 (まとめ)

一、(1) 進行態(継続態)と結果態とは、ともに「～テル(テイル・テン)」で表すことが普通である。両者に同じ表現形式を用いることと、それが存在詞「イル」を基にした「テイル>テル」形式である点で、「標準語」と共通する。しかし、同時に一方で、存在詞「オル」を基にした「テオル」を出自とする「～トル(トン)」も存している。男性

の話者(a)(b)(c)は出現する項目を異にするが、進行態（継続態）と結果態の両方に用いている。「～テル」に比べると使用頻度は低い。さらに男女差が存するようで、女性の話者(d)(e)の内省によると、女性はこの「～トル」はあまり使わないとの事である。

「～トル」と「～テル」とを見比べると待遇価値の上で差異が見られる。「～テル」が事柄・事態の客観的な叙述に働くとするれば、「～トル」は表現主体の批判的な主情が加わった、やや軽卑的・揶揄的なニュアンスの包含された表現を仕立てる。例えば文例01で、
010アー ア'ノ' シ'ト'タチワ- 'ハナ'シオ シ'ナガラ ハシット'ル ナー。

(m. S. 11) ああ、あの人難話をしながら歩いてやるなあ。

「～テル」ではなく「～トル」を用いることによって、単に走っていることを言表するばかりでなく、話をしながら走っていることへの批判的な気持ちが込められ、表現されるのである。この待遇価値の違いが、「～トル」の使用の男女差の要因となっていると考えられる。

(2) 「～ヨル」もまた見られるが、アスペクトに関わるのではなく、軽卑表現を仕立てることに参与する。

020アイツ 'ナー。'ケ'ガ 'シヨッ'テ ナー。(m. S. 23) あいつねえ、怪我やめてねえ。

文例02では、怪我したことを述べただけに止まらず、そのことをからかったり非難したりする心持ちが表出されることになる。この点で「～トル」と共通している。しかし、いまだ「～トル」がアスペクトに関与している点で異なっている。

(3) 待遇表現に特定的に関わるものとして、今回の調査では「～ハル」「～ヤガル」などを得た。

030セ'ンセ 'ケ'ガ 'シャハッ'テ 'ネ'ー。(m. S. 23) 先生が怪我をなされてねえ。

040ア'メ'ー 'フッ'テキ'ヤガッタ。(m. S. 23) 雨が降ってきやがった。

「～トル」をこれらの敬意の高いものから低いものへと並べた上に位置付けると、「ユーテハッタ」>「ユーテタ」>「ユートッタ」>「ユーテヤガッタ」の順になる。勿論、これら以外にも待遇表現に関わる表現形式は存する。例えば、テレビ番組で京都市内を案内する土地人の老女が文例05のように話していた。

050ゴ'モン シメ'ト'イヤス'ケ'ド。(教→軋) (いつも)脚を閉めていらっしやるけど。

同じく京都の民放の放送局のコピーに「見といやすか。聞といやすか。」ともある。これは「～ハル」の上位に位置付けられるものであろう。

反対に「～シマウ」形式は揶揄の気持ちといった負の方向の感じられることがある。。

060カキノ'キカラ- オッ'テ'シ'マッタ。〜 オッ'テシ'マイ'ヨッタ。(m. S. 23

) 藪の林から落ちてしまいやがった。〜落ちてしまいやがった。

こうして見てくるとアスペクト表現は何らかの待遇表現上の色合を帯びていることが分かる。さらに、「～ヨル」のようになると待遇表現上の機能へ移行している。こうした傾向性を特徴の一つとして指摘できよう。

二、(4) 意味を明確に区別して表現仕分ける為、例えば一本の蠟燭の炎がしだいに細く小さくなって行って完全に消えてしまう状態に至るさまを説明した文例07の下線部のように、語彙的な方法がとられている。

07〇ジュツ'ポン 'ナランデ'ル ロー'ソクガ'ー イツ'ボ'ンイツ'ボンガ ズーツ'ト
ジュン'バン'ニ ホ'ノー'ガ ホソ'クナッテ'イツ'テ ダンダン'ダンダ'ン チー
サ'クナッテイツ'テ モー 'キエカケテイク ヨ。 ドンドン'ドン'ドン モー 'キエカケ テイク ヨ'ー。(m. S. 11) 十本並んでいる蠟燭が、一本一本が、ずっと順番に炎が細くなって行って、だんだん小さくなって行って、もう 消えていくよ、どんどんもう消えていくよ。

桜の花が咲き誇り見頃になったある期間を捉えて、名詞を使った特定の言い方をする。

08〇サクラノ 'ハ'ナガ マツ'サ'カリヤ。(m. S. 11) 桜の花が真っ盛りだ。

09〇サクラノ ハ'ナガ 'モー ホン'ト'ニ イマガ ミ'ゴロヤ。(m. S. 11)

桜の花がもう本当に今が見頃だ。

運動会が盛り上がっている、その時を「真っ最中」を用いて表す。

10〇イン'マ 'ウ'ンドーカイ マツ'サイチュ'ーデ'ス。(m. S. 11) 今、運動会、真っ最中です。

これらもまた、語彙的なアスペクトの表現形式であろう。同じく、「花が散っている」の進行と結果とを同じく「チッテル」を以て表すのではなく、結果の方は動詞「落ちる」を用いて「オチテル」と言い分けるのも語彙的な表現の仕分けであると思われる。項目26・27の「建ててる」も動詞を変えることで両者を区別するのが普通である。

さらに、性向語彙の意味のなかにアスペクトを取り込んだものもある。例えば、苦勞を知らないボンポンを言う項目54のクローヅラズや、行ったまま帰って来ない者を言う項目72のイタキリ下ソボである。案ずれば、性向語彙は人の恒常的な行動癖を捉えて語彙化したものであれば、アスペクトを包含するのは自然であろう。

(いのうえひろふみ 大阪教育大学)